

# 安全教育便り①

## 東京都教育委員会指定「安全教育推進校2年次」

いつも本校児童の安全を地域・ご家庭で見守っていただき、ありがとうございます。

本校は、東京都教育委員会の指定を受け「安全教育推進校」として2年目の研究を進めています。子供たちがいつでも、どこでも、自ら危険予測して回避し、事件や事故に遭わずに安全に過ごすことができるよう、授業等で指導を進めているところです。

安全に関する指導は、地域・家庭・学校がそれぞれ行うのではなく、連携して行うことで効果を発揮すると考えております。そこで、学校で行った「安全教育」について情報を共有していきます。子供たちが自ら安全を確保できる力を身に付けることができるよう、このお便りを機会にご家庭でも「安全」について話題にしてみてください。

### 1・2年生 セーフティー教室「いかのおすし で毎日安全！」

こんなとき、どうする？

バイバイ！  
またあした！

おあさんがけがをしたので、びょういんにつれていってあげるよ

がっこうからかえるとき…

スイミングスクール

こうえんであそんでいるとき…

どうがのさつえいをするから、いっしょにきてくれない？

犬をさがしているんだけど、いっしょにさがしてくれないかな？

ならいごとのかえりに…

こんなときは「**いかのおすし**」

ついて「いか」ない

車に「の」らない

「お」おごえをだす

「す」ぐにげる

おとなの人に「し」らせる

「おうちのひとといっしょに、ちかくの「こども110ばんのいえ」をさがしてみよう！」



かけこみ  
ハウス

※出典「警視庁」

1・2年生は、犯罪から身を守ることができる合言葉として「いかのおすし」の学習をしました。

「いかのおすし」を1度学習するだけではなく、繰り返し・具体的に子供と大人で確認していくことが大切です。

登下校時の通学路などをイメージしながら「こんなとき、〇〇(お子さんの名前)ならどうする?」とご家庭でもシュミレーションしてみてください。

例:「こっちに来て、ゲームを一緒にやろうよ。」  
「秘密基地を作っているから来てよ。」  
「おうちの人が救急車で運ばれたよ。一緒に急いで病院に行こう。」  
と声を掛けられたら、どうする?

先週土曜日には、3~6年生もセーフティー教室を行いました。ご参観いただいた皆様、ありがとうございます。テーマは「SNS やオンラインゲームにおける安全」でした。次号でお知らせします。